

平成 20 年度 秋期 システムアナリスト試験 解答例

午後 試験

問 1

| 出題趣旨 | |
|--|--|
| <p>システムアナリストには、経営戦略を正しく理解した上で、業務革新の推進支援やシステム化計画の策定を行う能力が求められる。</p> <p>本問では、人事及び経理業務のアウトソーシングや ASP サービスの導入を題材として、経営戦略にそって業務要件及びシステム要件を整理する実践能力を評価する。具体的には、業務アウトソーシングや ASP サービスを導入する目的の理解、ASP サービス導入に関するコストの把握、情報セキュリティを確保するためのベンダ管理の視点について問う。</p> | |

| 設問 | | 解答例・解答の要点 | | 備考 |
|------|-----|--------------------------------------|--|----|
| 設問 1 | (1) | | ・ 中核の業務領域に経営資源を集中する。 ・ 総資産を拡大させない。 | |
| | (2) | | ・ 専門性の高い人材の不足を補う。 ・ 業務の運営を安定化させる。 | |
| | (3) | | ・ システムを安定稼働させる。 ・ システム運用の要員不足を解消する。 | |
| 設問 2 | | 関連する全体的なコストを比較する必要がある。 | | |
| 設問 3 | (1) | ASP サービス提供者の守秘義務及び責任を明確に定義し、契約に織り込む。 | | |
| | (2) | 入手すべき情報 | ASP サービス提供者の情報セキュリティ基準 | |
| | | その情報について確認すること | C 社の情報セキュリティ基準と比較した妥当性 | |

問 2

| 出題趣旨 | |
|--|--|
| <p>システムアナリストには、事業環境の変化へ対応するための業務改革に貢献するシステム化構想を立案し、提案する能力が求められる。</p> <p>本問では、業務改革の方針からシステム機能とシステムの活用策を検討し、提案する能力について評価する。具体的には、住宅用の機器販売会社のシステム再構築を題材として、顧客との対応時におけるシステム支援機能、営業におけるシステム活用策及び作業の進捗状況を把握するための携帯電話のブラウザ機能の活用策について問う。</p> | |

| 設問 | 解答例・解答の要点 | | 備考 |
|------|-----------|--|----|
| 設問 1 | (1) | 店舗での顧客との対応の経緯 | |
| | (2) | すぐに概算費用を提示できる機能 | |
| 設問 2 | (1) | 機器の買替えが発生する可能性の高い顧客を抽出する。 | |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置してある機器の型式及び設置年月日 ・ 機器の型式に対応する補修部品の有無や在庫状況 | |
| 設問 3 | (1) | 作業終了見込み時刻 | |
| | (2) | 次の顧客への到着が遅延しそうな場合には、ほかの作業員へ代替する。 | |

問 3

| 出題趣旨 | |
|--|--|
| <p>システムアナリストには、現状分析、システム改善要件の整理、システム概要設計を行い、業務拡大に貢献する個別システムの改善構想を立案できる能力が求められる。</p> <p>本問では、食品卸売業の物流業務の請負を題材として、現状システムの分析と顧客要件の整理を行い、システム改善構想を立案する能力について評価する。具体的には、配送計画における計画精度の改善と新たに導入する機能の活用、食品卸売業の在庫管理に必要なデータ項目の検討、納入先の作業の軽減に必要な情報と活用について問う。</p> | |

| 設問 | 解答例・解答の要点 | | 備考 |
|------|-----------|---|----|
| 設問 1 | (1) | 運行記録情報を使用して、標準走行時間を修正する。 | |
| | (2) | 配送計画案ごとに CO ₂ 排出量を算出し、最も少ない計画案を求める。 | |
| 設問 2 | (1) | 賞味期限を管理し、古い日付の商品から出荷する。 | |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造工場 ・ 製造ロット番号 | |
| 設問 3 | (1) | 出荷情報を提供し、入荷前に伝票を照合する。 | |
| | (2) | 棚割情報を入手し、陳列棚ごとに商品をまとめて納入する。 | |

問 4

| 出題趣旨 | |
|---|--|
| <p>システムアナリストには、経営戦略を正しく理解する能力、業務改革案に基づいた改善案を構想する能力、戦略に基づいた最適な情報システム基盤構成の方針を策定する能力が求められる。</p> <p>本問では、組込みソフトウェアのアーキテクチャと開発体制の見直しに関する経営戦略上のねらいを理解する能力、経営戦略を実施するための改善案と必要な情報システム機能を構想する能力を評価する。具体的には、アーキテクチャの見直しが売上拡大・コスト削減・品質向上に貢献する理由、コスト削減を更に進めるための開発要員の見直し方法、部品表のシステムに追加する機能を問う。</p> | |

| 設問 | 解答例・解答の要点 | | 備考 |
|------|---------------------------------------|---|----|
| 設問 1 | (1) | 内容 ほかのシステムとの連携部分は業界の標準仕様に準拠する。 | |
| | | 理由 顧客のシステムとの連携が容易になり、競合他社の製品に対して差別化できる。 | |
| | (2) | 内容 機種ごとのソフトウェアの開発で共通部品を利用する。 | |
| | | 理由 ソフトウェアの開発量の増大を抑えられる。 | |
| | (3) | 内容 部品化でソフトウェアの構造を単純にする。 | |
| | | 理由 カスタマイズや仕様変更の修正漏れを防げる。 | |
| 設問 2 | 高いスキルを不要とする部品については、開発単価の低い開発要員を割り当てる。 | | |
| 設問 3 | ソフトウェアの部品も登録できる機能 | | |